



# シェア して見たら わかった こと



東京のどこかにあるシェアハウス。  
ここには、年齢も社会的立場も異なる人たちが、  
同じ屋根の下暮らしている。



令和元年度制作 DVD 46分

企画：東京都教育委員会 制作：東映株式会社

20,000円(税抜)[C#6526]  
字幕・副音声収録  
活用の手引付き

# 外国人に関する人権

「外国人、キライですか？」



主人公・未来と和也が、リビングで外国人に対する陰口を言っていると、ネパール人のガネスが帰宅し、気まずい雰囲気。見かねた家主の守は、震災時に避難所で出会った外国人家族のエピソードを話し始める…。

解説:鈴木 江理子さん(国士舘大学 教授)

取材:NPO法人 多文化共生センター東京



# 性自認や性的指向に関する人権

「素敵な女性になれると思ってた」



未来は、和也のアウティングによって、じゅんがトランスジェンダーであることを知ってしまう。じゅんは「こんな形で話すのは不本意だけど…」と自分の辛かった体験を交えて語りだす…。

解説:小川 奈津己さん

(NPO法人 ReBit 教育事業部マネージャー)

取材:小林 りょう子さん

(NPO法人 ハートをつなごう学校副代表理事)



上京して、期待を胸に入居した  
シェアハウス  
そこに暮らしているのは、  
個性豊かな住人たち



この住人たちとの交流は戸惑いの連続だけど  
時間、空間、思いをシェアして初めて気づくこともある

私が、シェアしてみたらわかったこと



# 外から見えにくい 障害のある人の人権

「わたし、発達障害なのです」



未来が帰宅すると、沙織がリビングで熱心にメモを書いている。話を聞くと、沙織は発達障害で、生活上のトラブル回避のためにやっているとのこと。気になった未来は、自室で発達障害について調べてみる…。

取材:発達障害の就職支援を行う

就労移行支援事業所「ディーキャリア」



# 災害時の人権



突如、地震が発生。住人たちはリビングに集まってくる。守の提案で、消費期限近の非常食を食べながら、それぞれ災害時の大変だった経験などを語り合う。

解説:東 俊裕さん(熊本学園大学 教授)



 東映株式会社 教育映像部

<http://www.toei.co.jp/edu/>

関東営業推進室 〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17 ☎03-3535-3631  
関西営業推進室 〒530-0001 大阪市北区梅田1-12-6 ☎06-6345-9026  
広島出張所 〒730-0015 広島市中区橋本町5-2 ☎082-511-2066

● お買上げは